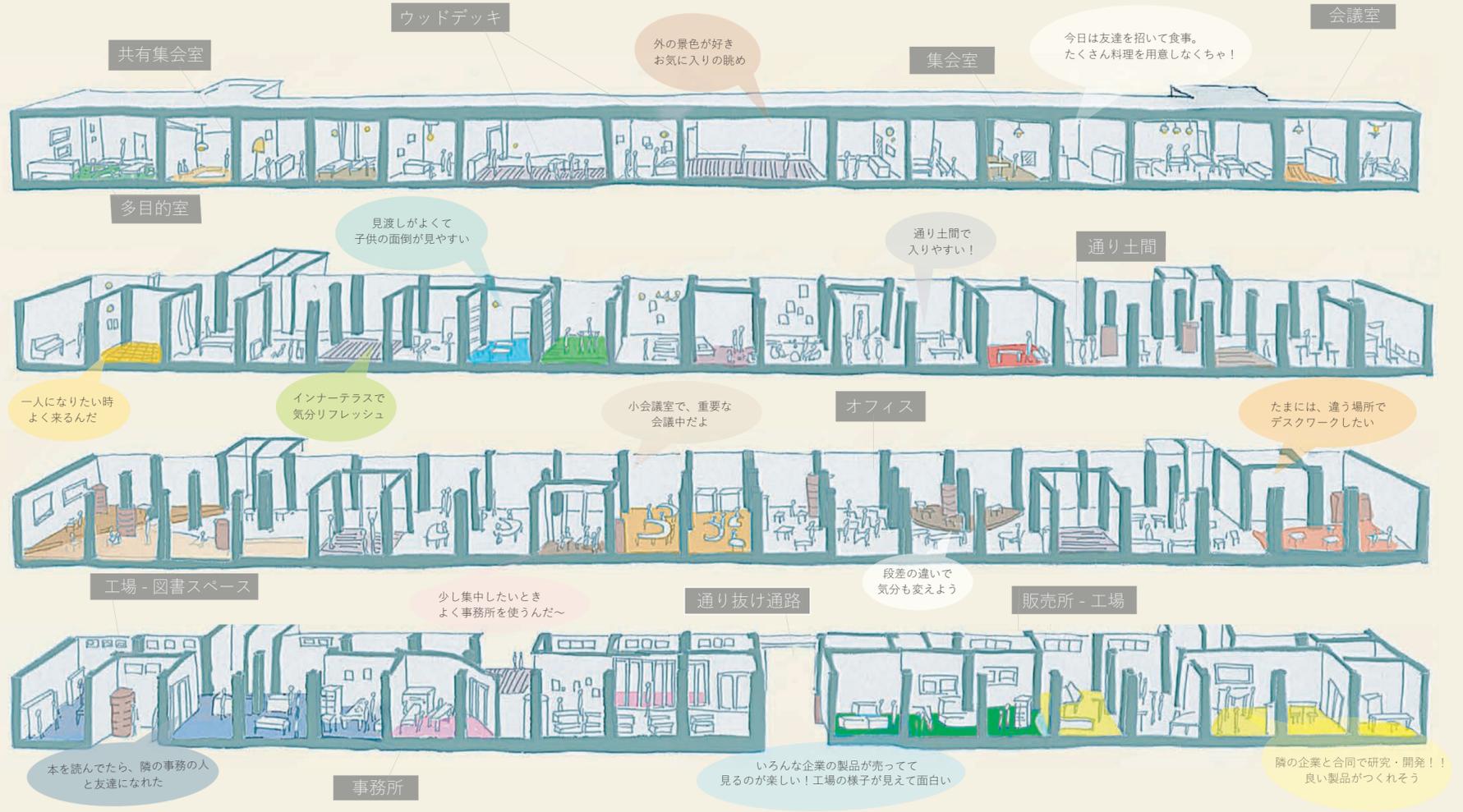
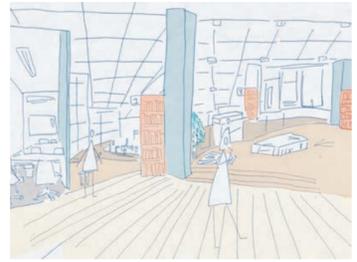


継ぎたもう

私たちの生活は、出会いと別れで成り立っている。現代では、情報が進み出会いも別れも、スマホ一台で簡単にできる。しかし、真の豊かさは実際に会い、話し、共に歩くことで形成されるのではないだろうか。廃校になる学び舎が結び、継いでいく新たなコミュニティ。



工場 - 図書スペース 工場の様子を見たり、図書スペースで読書をする事が出来る。



オフィス 段差や床の色で開放的につつ空間を分ける



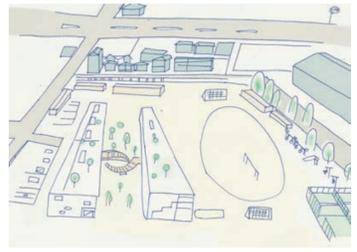
販売所 - 工場 製品がどうやって作られるか見られる



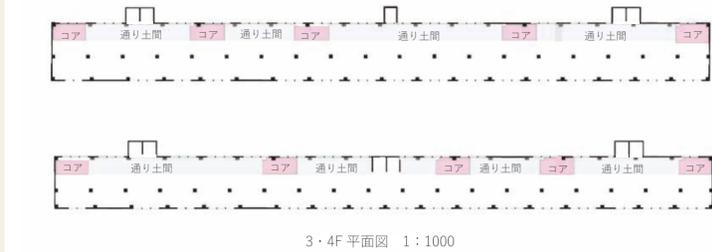
中庭 - 階段 踊り場は広めの休憩場で談笑ができる



3・4F 通り土間 室内にありがたく開放的



全体俯瞰パース



Site

高知県にある南中高等学校の敷地。準工業地域であり、1900年代は工業が盛んであった。しかし、多くの工場が跡継ぎ不足や経営不振により壊され、現在は若い人が住むアパートが立ち並んでいる。



Problem&Solve

問題提起 ↓ 解決案

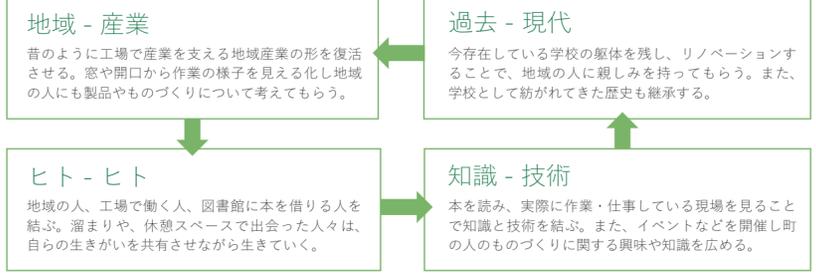
南中高校が廃校になるとこれら問題が深刻化する

・昔(1990年代)より人通りが少ない
・アパートが多く、ご近所付き合いが盛んではない

・少子高齢化・過疎化
・自治体の財政が少ない

・廃校を利用し、町工場をつくり昔のような地域産業を復活させる
・幅広い年代の地域住民が利用・共有することの出来る空間づくり

New network



Concept

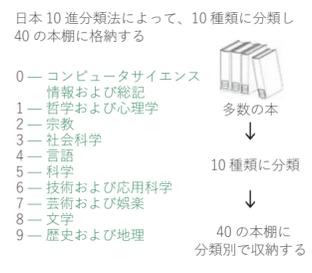
地域 × 共生

地域社会において「誰とでも繋がれ共生できる」内と外の中間のような居場所が必要とされている。現代化に伴って失われた地域コミュニティを学校建築の特性を生かし再構築する。

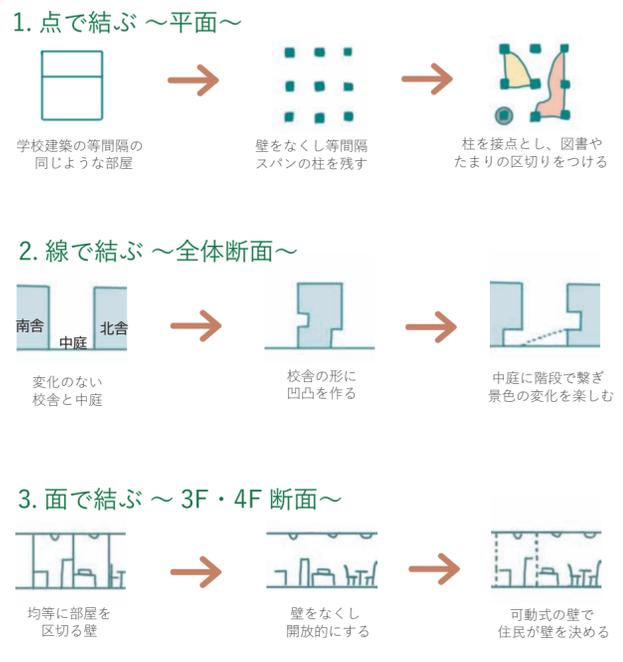


従来の「南側教室北側廊下」の建築は、子供たちが生活する学校という場所で秩序と全体性を持たせるといっては有効であった。このベースを生かし、住宅と工場の程良い距離感を作り出す。そして、現状の躯体のみを残し、ランダムな柱ごとに本棚兼溜まりを作ることで工場と図書のスペースに多文化共生空間をつくる。

Botted books



Diagram



1day Schedule

・黄色は溜まりや共有空間を使用している時間をさす。
・年齢や職種の違う人々が、空間を通して関わりあう。

主婦	就寝	家事	朝食	パート	家事	夕食
小学生	就寝	朝食	学校	夕食	就寝	
作業員	就寝	朝食	出社	出社	夕食	就寝

3:00 6:00 9:00 12:00 15:00 18:00 21:00 24:00

